

住友アルジンク鋼板[®]

SUMITOMO ALZINC[®]

松永貴裕/Takahiro Matsunaga・和歌山製鉄所 薄板商品開発室

谷田孝次/Koji Tanida・和歌山製鉄所 薄板管理室

植田尚孝/Naotaka Ueda・和歌山製鉄所 薄板管理室 参事補

要 約

住友アルジンク鋼板(55%Al-Zn合金めっき鋼板)は、近年のウォーターフロント開発に伴う塩害対策として脚光を浴びて いる建築用表面処理鋼板である。本鋼板は、亜鉛めっき鋼板の3~5倍という優れた耐食・耐久性能を有するため、腐食環境の 厳しい地域(塩害地域、工業地域)での屋根・壁材として適している。また、従来の亜鉛めっき鋼板と同様に取り扱えるため、 加工および作業面に難点のあるステンレス鋼板・塩ビ鋼板ダクトに替わる特殊ダクトとしても注目を浴びている。本稿では、 屋根・壁用途およびダクト用途に絞り、住友アルジンク鋼板の性能を紹介する。

Synopsis

Sumitomo Alzinc steel sheet (steel sheet plated with a 55% aluminumzinc alloy) has been receiving critical acclaim for use as a surface construction material employed to prevent salt damage accompanying the recent development of waterfronts. Alzinc boasts three to five times better corrosion resistance and durability than zinc-plated steel sheet, making it an ideal material for roofs and walls in areas with harshly corrosive environments, such as damage from salt is likely or in industrial areas. Alzinc is also winning praise because it can be handled in the same way as conventional zinc-plated steel sheet, enabling it to serve as an alternative to ducts made with stainless steel sheet and vinyl chloride steel sheet, which pose machining and operational difficulties. In this paper, we will take a look at the performance of Sumitomo Alzinc, focusing only on its application in roofs, walls, and ducts.

1. 住友アルジンク鋼板の特徴

住友アルジンク鋼板は、高耐食性・高耐久性の溶融55%Al-Zn合金めっき鋼板(55%アルミニウム—43.4%亜鉛—1.6%シリコン(重量%))で、世界で初めて広幅(6尺幅)の製造が可能となった製品である。

性能面では、アルミめっき鋼板の長所(耐食性、耐熱性、熱反射性)と亜鉛めっき鋼板の長所(疵部、端面部などの犠牲防食能)を兼ね備えている。合金めっき層の断面写真を写真1に、屋外曝露試験結果を第1図に示す。

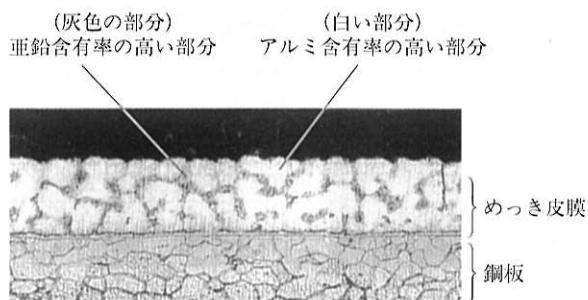
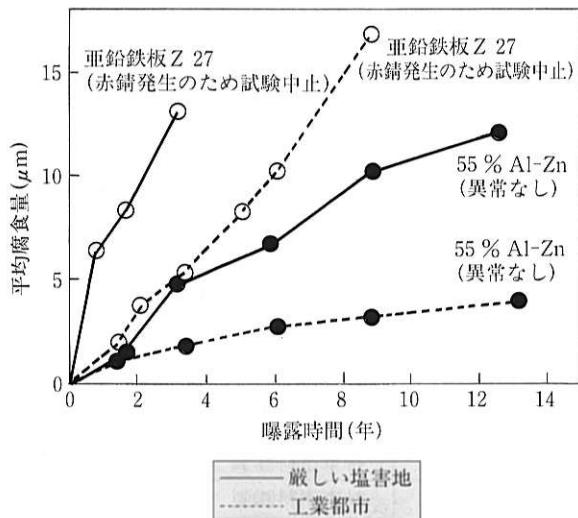


写真1 めっき層の断面写真



第1図 屋外曝露試験での耐食性(米国)

製品紹介

2. ロール成形用特殊処理品(AZ-U)屋根・壁用途

ロール成形用住友アルジンク鋼板は、適度な潤滑性をもったクリヤ皮膜を有する(第2図)ため、通常の折板加工が可能である。厳しい加工に対しては、潤滑油の併用も可能である。

ロール成形特殊処理品(AZ-U)の特徴

- (1)優れた耐食性
- (2)銀白色の美麗な外観。(写真2)
- (3)ロール成形が可能。
- (4)優れた熱変色性(第1表)
- (5)優れた断熱材接着性(第2表)
- (6)優れた熱反射性(第3図)
- (7)後塗装が可能。(第3表)

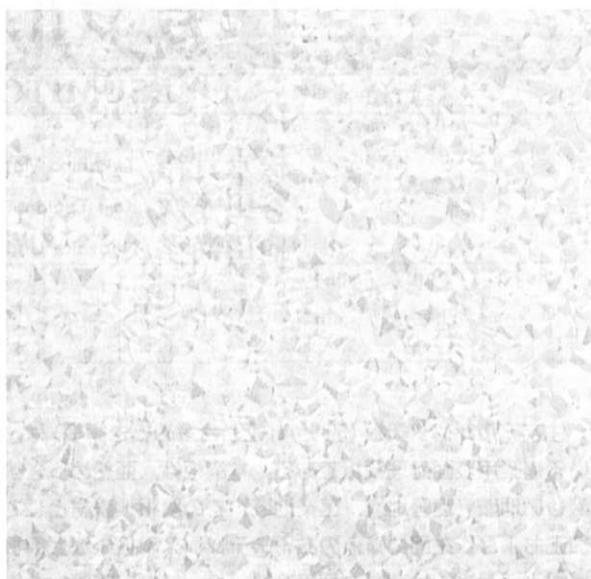
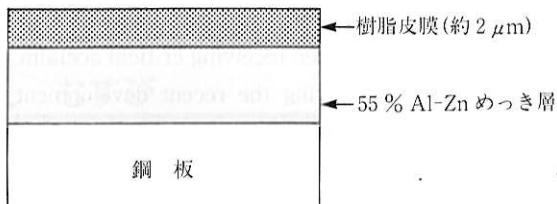


写真2 アルジンク鋼板(AZ-U)の表面外観



第2図 ロール成形用特殊処理品(AZ-U)の断面図

第1表 アルジンク鋼板(AZ-U)の熱変色性

試験条件	表面変色度合
100°C × 1時間加熱	変色無し
200°C × 1時間加熱	変色無し
250°C × 1時間加熱	若干黄色く変色
300°C × 1時間加熱	若干黄色く変色

第2表 アルジンク鋼板(AZ-U)の断熱材接着性試験方法および結果

使用糊および断熱材	一次密着性		二次密着性	
	試験方法	評価	試験方法	評価
(糊貼り合わせ法) 糊: ノーテープ工業(株)製 No.8230 断熱材: 古河電工(株)製 フォームエース®	引き剥がしによる観察	良好	水道水浸漬後(17日)引き剥がしによる観察	良好
(熱融着法) 断熱材: ①積水化学(株)製 ソフトロン ②日立化成(株)製 ハイエチレンスチーパー		良好		良好

第3表 アルジンク鋼板(AZ-U)の後塗装性(補修塗料)

塗装色	塗料名	一次密着性	二次密着性	耐候性
シルバー	日本ペイント(株)製 ハイラバーEスーパー上塗	100/100	100/100	良好
	日本ペイント(株)製 シルバーコート	100/100	100/100	良好
	神東塗料(株)製 NYポリソルベント上塗	100/100	100/100	良好
ホワイト	神東塗料(株)製 ガルバトップ	100/100	100/100	良好
	関西ペイント(株)製 アレスタン上塗	100/100	100/100	良好

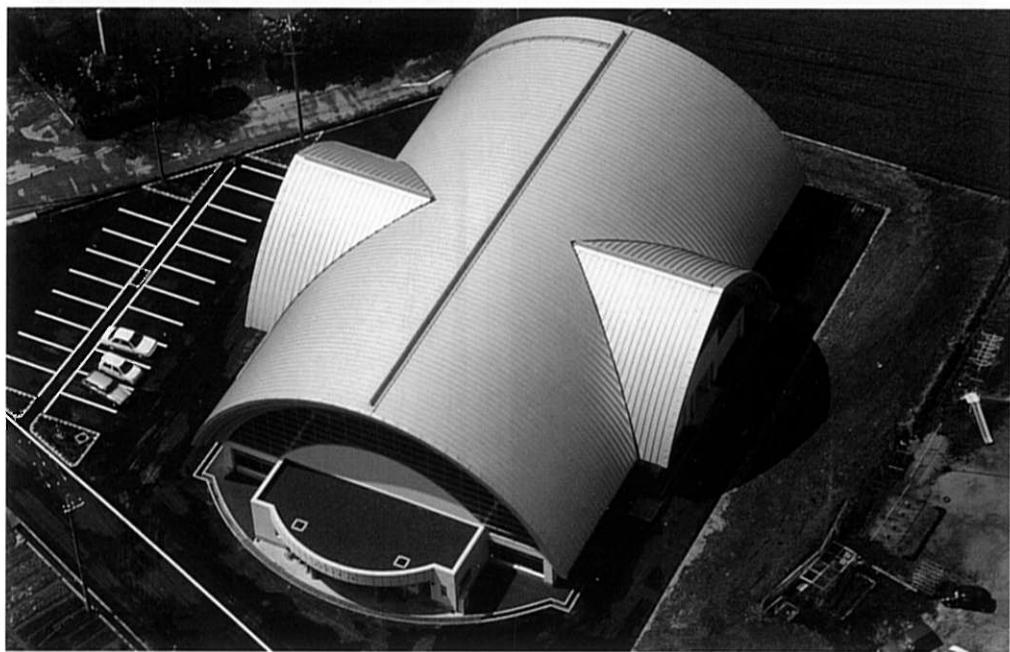
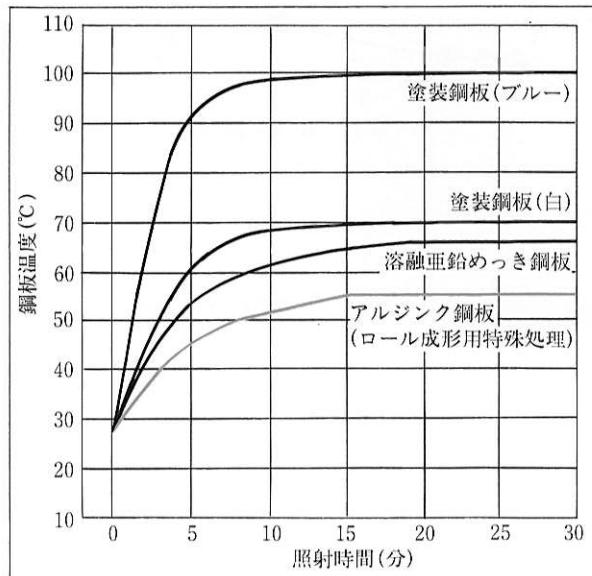
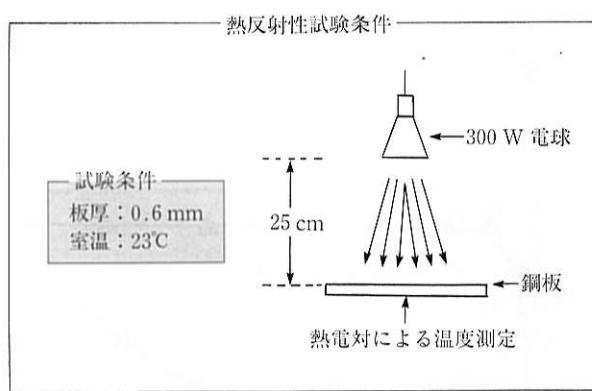


写真3 施工事例(多目的運動施設“あじさいホール” 屋根)



第3図 アルジンク鋼板(AZ-U)の熱反射性

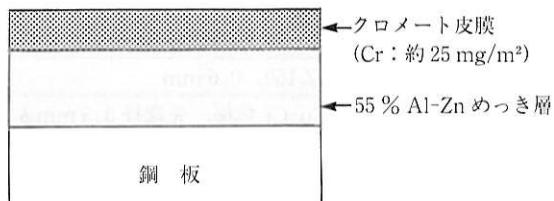
3. クロメート処理品 (AZ-C) ……ダクト用途

ダクト用住友アルジンク鋼板(第4図)は、6尺幅コイルの製造が世界で初めて可能となつたため、ダクト業界で板取りに用いられるプラズマカッターカット効率が優れる。

さらに、溶融亜鉛めっき鋼板に較べて耐食性、耐熱性に優れることから、ウォーターフロントのビル(塩害)、クリーンルーム(初期錆)、塗装オーブン(耐熱)等のダクトとして最適である。

クロメート処理品 (AZ-C) 特徴

- (1) 6尺幅コイルが可能
- (2)亜鉛めっき板と同様の作業性
(プラズマ切断、ダクト成形(写真4))
- (3)優れた耐食性(第5図、写真5)
- (4)溶接が可能(第6図)
- (5)優れた耐熱耐食性(写真6)



第4図 クロメート処理品(AZ-C)の断面図

製品紹介

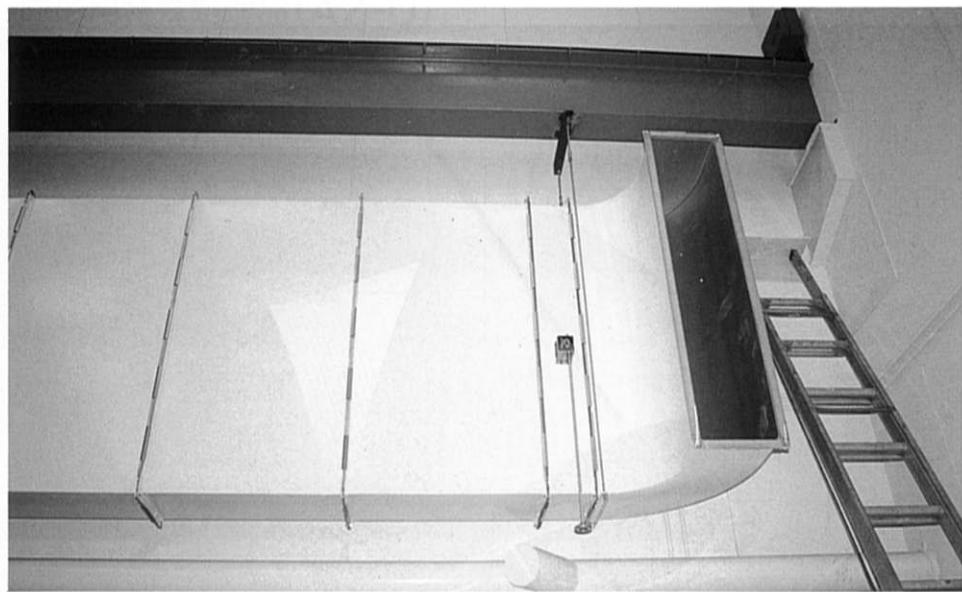
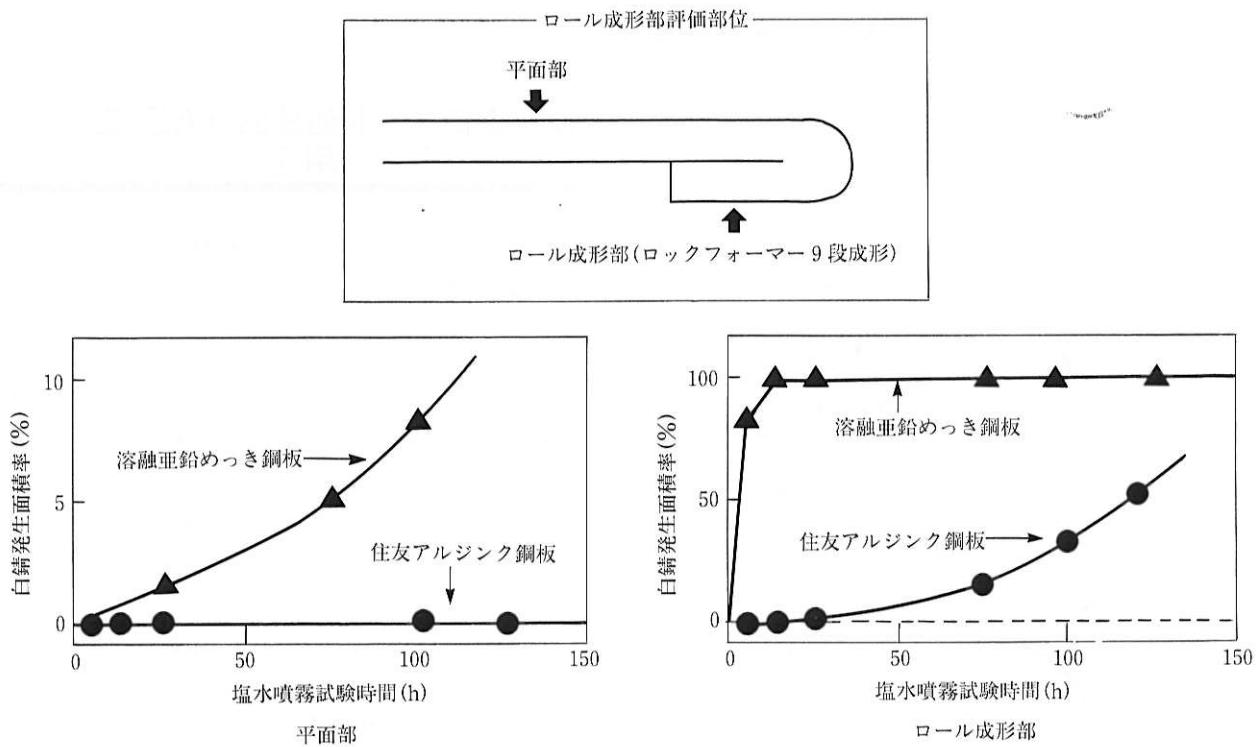
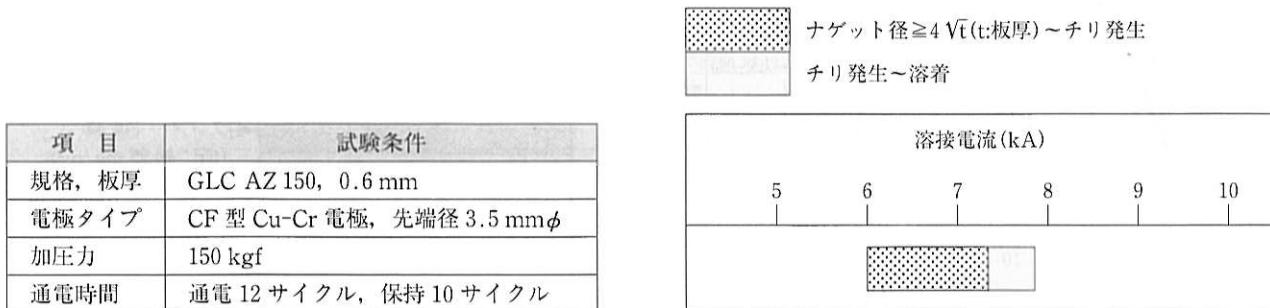


写真4 施工事例(日新電機株殿：クリーンルーム用ダクト)



第5図 アルジンク鋼板(AZ-C)の耐白錆性



第6図 アルジンク鋼板(AZ-C)の適正溶接電流範囲

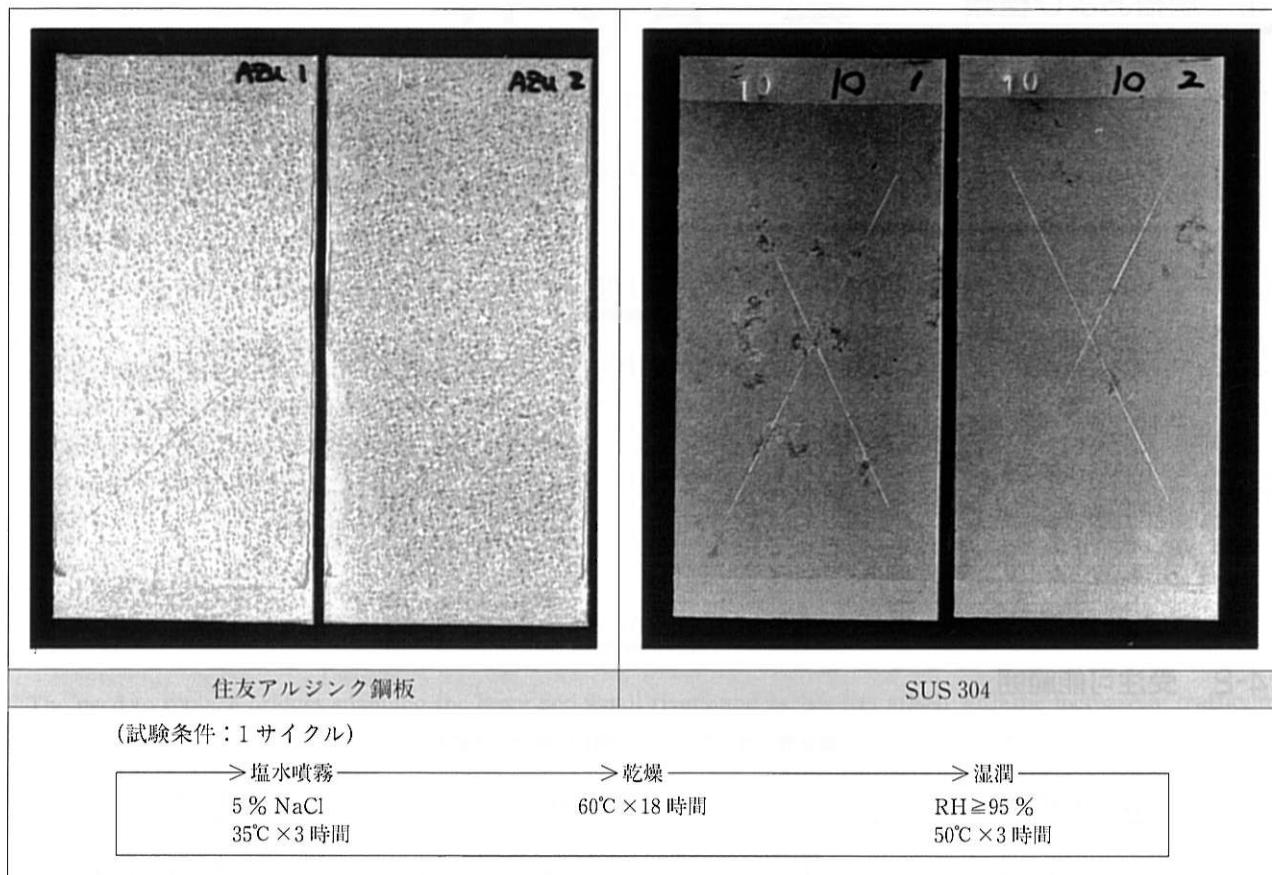


写真5 アルジンク鋼板(AZ-C)の耐食性(複合サイクル腐食試験, 20サイクル後)

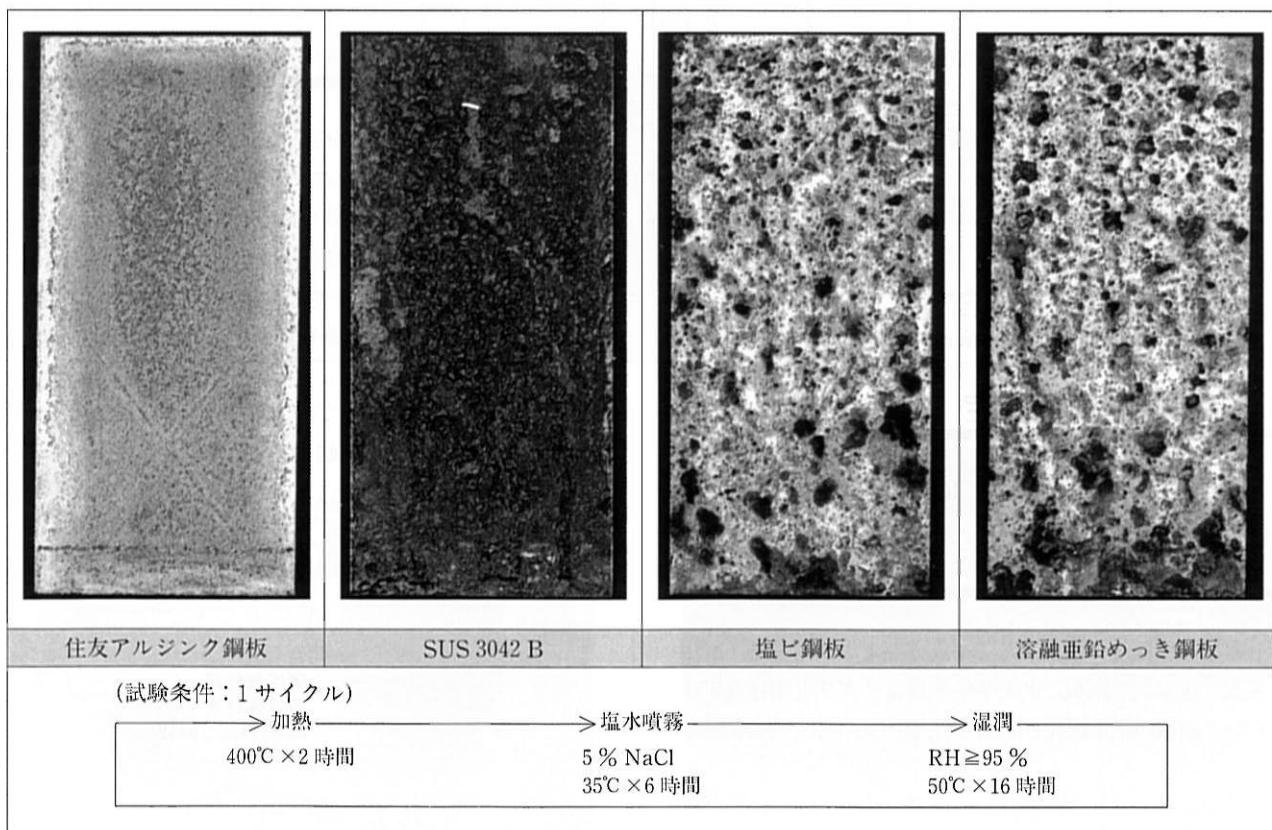


写真6 アルジンク鋼板(AZ-C)の耐熱耐食性(6サイクル後)

製品紹介

4. 規格および種類

4-1 規格および種類

第4表一a 規格記号

規格記号	表示厚さ(mm)	主な用途
GLC	0.35 以上 2.3 以下	一般用
GLDD	0.40 以上 1.6 以下	深絞り用
GL 400	0.40 以上 2.3 以下	構造用

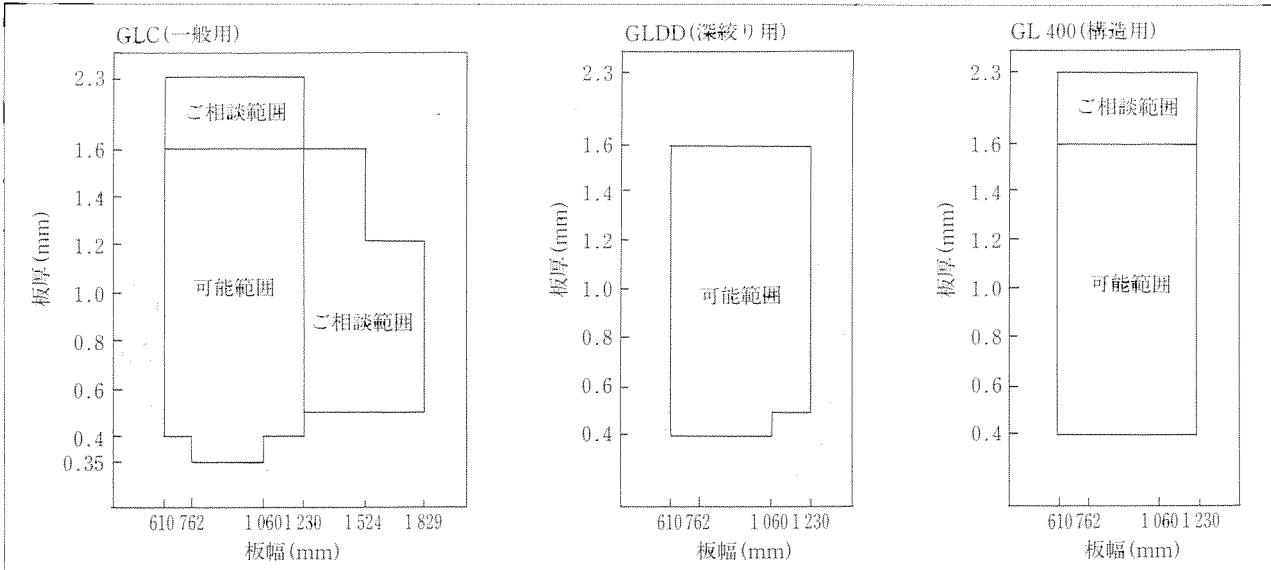
備考 1. 板厚 1.6 mm 超え、2.3 mm 以下はご相談範囲となります。

第4表一b 両面等厚めっきの両面最小付着量

めっきの付着量表示記号	(単位 g/m ²)			
	AZ 90	AZ 120	AZ 150	AZ 170
両面 3 点平均付着量	90	120	150	170
両面 1 点最小付着量	76	102	135	150

4-2 受注可能範囲

第4表一d アルジンク鋼板の受注可能範囲



5. 不燃材料の認定

「住友アルジンク」 不燃 (個) 第 11683 号

6. おわりに

建築用表面処理鋼板として平成 6 年 8 月より屋根・壁用住友アルジンク鋼板、平成 7 年 9 月よりダクト用住友アルジンク鋼板の製造販売を開始した。55 % Al-Zn 合金めっき

鋼板は各種用途に世界中で約 250 万 t／年 (1993 年) 使用されており、今後とも高耐食性、耐熱性耐熱性などその特徴を活かし、幅広い分野において需要の拡大が期待される。

問合せ先
薄板建材部
薄板建材室
☎ 03(3282)6449